

Campus

中学校・高等学校

Topics

キャンパス・トピックス

第22回卒業生を迎え、第3回ホームカミングデーを開催



エントランスにて記念撮影



カフェテリアにて懇談



センテナリーホールにて恩師紹介

今年で3回目を迎えるホームカミングデーが10月22日に開催されました。今年度は高等学校第22回卒業生（昭和45年3月卒業）が還暦を迎えることとなりました。この機会に母校淑徳に還り、近況を語り合ったり、旧交を温め、改めて学校や同窓会とのつながりを深めるきっかけとするという趣旨で、今年も役員や実行委員の方々の手で春から準備がされてきました。

当日は卒業生602人のうち165人の方々と卒業時の担任をはじめとする26人の先生方、同窓会役員14人の参加がありました。第1部はセンテナリーホールにて参加教員の紹介と学園創立60周年の記念映画「淑徳」を上映。あいにくの空模様でしたが、エントランス前階段に勢揃いして記念撮影をする頃には雨もひと休み。

第2部は清明館カフェテリアに移動して会食および懇談。恩師を囲んで昔話に話が咲いていました。還暦といってもみなさん若々しく、40数年前の高校生活を振り返って語り合い、にぎやかな会となりました。最後に「全員で校歌と『我らの淑徳』を歌い、再会できることを願って、名残を惜しみながら散会しました。校舎はずっかり様変わりしてしまいましたが、懐かしいメンバーが集い、貴重なひとときとなりました。

姉妹校の南京市第一中学校から黄侃先生来日



前列中央が黄侃先生

12月1日（木）、南京市より南京市第一中学校の黄侃先生と金陵中学の黄皓燕先生が来校されました。いずれの学校も海外への生徒の留学に熱心に取り組み、各国に卒業生を送り出しておられます。今回は京都大学工学部地球工学科国際コースのワークショップに招かれて来日されたものです。

どちらの学校とも淑徳中高とは以前から交流を続けて来ているので、この機会に名古屋へお呼びし、小林学園長にもお会いいただきました。南京一中とは平成13年より姉妹校として交流し、淑徳高校からも修学旅行などで学校訪問してきました。種々の状況からしばらくの間中断していましたが、昨年度より双方の教員交流を始めました。中国からは昨年1月から2月にかけて2人の先生が滞在され、中学・高校生に授業や講演、またマラソン大会にも参加していただきました。淑徳からは5月に2人が南京一中で過ごしました。

黄侃先生は南京一中で国際部主任を長年勤めておられ、香港、シンガポール、アメリカ、フランス、韓国等との生徒交流を推進されています。今回は生徒のホームステイなどの提案がなされ、淑徳と一中との関係深化に向けて双方努力することを確認しました。

中学校入試説明会に1,500人が来校



中央棟大アリーナでの説明会

中学校の入試説明会が11月19日（土）に行なわれました。淑徳の行事は「淑徳晴れ」になることが多いのですが、この日は生憎の雨、しかもかなり激しい雨に見舞われました。そんな悪天候にも関わらず、1,500人を超える方々にご来校いただきました。今年も、午前中は小学校6年生向けとしてプログラムが組まれました。大アリーナで行なわれた全体会では、吹奏楽部の演奏に引き続いて、校長の挨拶がありました。「わたしの淑徳」、副校長の出願の注意がありました。試験会場の下見という意味を込めて会場を教室に移し、プロジェクトで各教科の平成23年度入試問題解説ビデオを見てもらいました。午後の部は、小学校5年生以下を対象として、説明会を行ないました。新しい企画としては、中学の生徒会が個別相談の隣にある教室を会場にして「淑徳生に聞いてみよう」を行ない、個別相談に負けないくらいの相談を受けていました。

午前・午後どちらの部にも、大勢の保護者の方が熱心にメモを取りながら聞き入る姿が見られ、保護者の方々の熱い思いが感じられました。